

新潟大学 免疫学セミナー

免疫チェックポイント分子PD-1の機能を制限する機構の発見とその応用

東京大学
定量生命科学研究所
分子免疫学研究分野

岡崎 拓 先生



日時：11月6日(水) 17:00～18:00

場所：旭町キャンパス 第三講義室

抑制性免疫補助受容体PD-1の機能阻害によるがん免疫療法、いわゆる免疫チェックポイント阻害療法の成功により、がん細胞に特異的なT細胞の活性化がPD-1によって抑制されていること、およびPD-1の機能を阻害することによりそれらを活性化してがんを治療し得ることが明らかとなった。PD-1はがん細胞や自己組織を攻撃するT細胞の活性化を強力に抑制する一方で、通常のT細胞応答を抑制してしまうことはないが、この使い分けを可能としている機構は不明であった。本大学院講義では、近年我々が見出したPD-1の機能を制限する機構、および本機構を標的として開発した自己免疫疾患に対する新たな治療法について紹介する。

担当：免疫・医動物学分野 片貝 智哉 (内線2133)